

下糸量を定量巻きすることで、ボビンの残り糸を最小限に抑えることができます。

全自動で糸巻きを行うので、作業者は不要です。



#### 使用範囲



エアバッグ



航空機



カーインテリア



船舶



シートベルト



家具



カーシート

#### 機械特性

1. 巻き終わりの糸始末が出来るため、糸がばらけません。
2. 糸の測長はエンコーダーにより、糸の無駄がありません。
3. 一定の巻きテンションが得られます。
4. 倍釜ボビンで約200個入ります。
5. 停止位置を一定にでき、ボビンケースへのセット性が向上します。

#### 仕様

主な装置	ボビン供給	直進パーツフィーダー(BFC) ロータリーパーツフィーダー	
	糸供給	巻き調整機構、エアテンションユニット、 糸締め、糸緩め機構	
	巻き取り	スピードコントロールモーター	
対象ボビン	ボビン サイズ	直径 23.5~30mm 外幅 10~14mm	
		Aタイプ	Bタイプ
	適用ボビン (例)	LU4430水平釜 (三菱)	倍釜 (JUKI)

設備能力	1pls長さ	86~88mm
	巻線速度	タクト時間16秒(18mm 巻線長) ※巻く糸の長さで変化します
	精度	±500mm/18mm
	最大投入量	倍釜ボビン 約200個
設備寸法	幅1,000×奥572×高さ1,600mm	
重量	約150Kg	
動力源	空気圧	0.4~0.6Mpa
	油圧	接続口:ハイカブラ20PM(日東工器)
	電源	AC200V(標準)、AC100V
	周波数	50/60Hz